

生命環境科学研究科 生物資源科学専攻（博士前期課程）
国際共同農業研究エキスパート養成プログラム

生物資源科学専攻【国際共同農業研究エキスパート養成プログラム】専攻共通科目（必修）

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01AB002	生物資源科学のための英文論文の書き方	1	1.0	1・2	秋AB	月5	総合A111	テイラー デマー、木下 奈都子	生物資源科学に関する科学論文を英文で書くために必要な基礎事項について、社会科学側面も含めて理解させる。	国際共同農業研究エキスパート養成プログラム、グローバルフードセキュリティコースでは必修。01ER106と同一。英語で授業。
01AB003	留学生のための生物資源科学基礎論	1	1.0	1	秋AB	水1,2	生農F106	ダス ネヴェス マルコス アントニオ、柏原 真一、梶山 幹夫、上條 隆志、津村 義彦、野村 暢彦、氏家 清和、北村 豊	生物資源科学関連の研究分野に在籍する留学生（前期および後期1年次生）を対象として、わが国の農林業および生物関連産業の現状認識を深め、各自の勉学の基礎を固める。本講義では、特に明治以降のわが国における農林業および生物関連産業の発展に画期をもたらした各種技術を取り上げ、その技術の内容、意義、諸外国の類似技術との比較等について概説するとともに、農林業、生物関連産業の現場見学、担当者との意見交換などを通じて、直接的かつ具体的に生物資源科学の特質を理解する機会を提供する。	農林生物学領域・農林社会経済学領域・生物環境工学領域・応用生命科学領域の留学生は必修。国際共同農業研究エキスパート養成プログラムでは必修。英語で授業。

生物資源科学専攻【国際共同農業研究エキスパート養成プログラム】プログラム共通科目（必修）

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01AB756	Special Research Work II	6	3.0	2	通年	応談		市川 創作、江前 敏晴	指導担当教員の指導のもと、国際共同農業研究に関する論文や著書を読み、まとめて発表することで、研究を進めるために必要な知識を身につける。	必修 英語で授業。
01AB757	Special Research Work III	7	6.0	2	通年	応談		市川 創作、江前 敏晴	指導担当教員の指導のもと、修士論文の研究テーマに関連する実験、調査等を実施し、国際共同農業研究の研究計画立案方法、研究方法、データの処理方法、論文のまとめ方を学ぶ。	必修 英語で授業。
01AB784	Special Research Work I	1	2.0	1	通年	応談		市川 創作、江前 敏晴	各学生の指導担当教員が、国際共同農業に関連するそれぞれの研究分野の研究トピックを紹介し、現在の課題や解決に向けての研究方法を理解させる。	必修 英語で授業。

生物資源科学専攻【国際共同農業研究エキスパート養成プログラム】プログラム選択科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01AB007	Communication Techniques	1	1.0	1・2	春AB	水2	生農F106	ブザス ディアナ ミハエラ	A myriad of techniques can be used to communicate effectively. In this course, students will be able to integrate communication techniques in an impromptu speech based on given a given template. Students will both evaluate and practice speeches thereby developing presentation skills and identifying their personal strengths in communication. We will also all strive to make each class an inter-culturally orientated, open and friendly environment for interaction.	Lectures will be taught in English. This course is limited to 15-20 students, based on an interview in the first class. In this course, you can get by with whatever your English level is. If your main aim is to improve your English, do not sign in! THIS IS NOT AN ENGLISH LANGUAGE COURSE. The lecture room: F106
01AB368	グローバルフードセキュリティ研究概説	1	1.0	1	春C	水1,2	生農F106	草野 都、江面 浩、大澤 良、松下 秀介、佐方 啓介、首藤 久人、王 寧、石賀 康博、木下 奈都子	将来の食糧危機に対抗するため、戦略的な食糧安全保障計画に基づいたフードセキュリティ研究は重要である。本講義の前半では、概論を通じてフードセキュリティを取り巻く研究情勢を理解する。次に、フードセキュリティに向けた専門分野の研究に関する講義を行い、必要な知識や先端技術について学習し、フードセキュリティ研究に必要な知識を培う。	グローバルフードセキュリティコース 国立台湾大学サブコースで修士（農学）を取得する場合は必修。 英語で授業。
01AB384	生物資源工学研究概説	1	1.0	1	春C	応談		北村 豊、トファエル アハメド、野口 良造、足立 泰久、小林 幹佳、江前 敏晴、中川 明子	持続可能な社会に向けた生物資源と環境保全の効率的な利用を調和させるための基本的な知識や技術を学ぶ。これは、包括的かつ総合的な科目であり、地球上の生物資源の様々な機能を明らかにし、生命科学、バイオテクノロジーの開発と工学や技術の応用に関する知見を解説する。この科目はまた、基礎および応用研究の紹介を通して総合的かつ国際的なインテリジェンスを養成する。	グローバルフードセキュリティコース 国立台湾大学サブコースで修士（生物資源工学）を取得する場合は必修。 英語で授業。
01AB758	キャパシティ・デベロップメント論	1	1.0	1・2	秋C	集中		小林 花	途上国の農村開発に必要な様々なキャパシティの定義、キャパシティアセスメントの手法、(1)個人、(2)組織、(3)社会のそれぞれのレベルに関するキャパシティデベロップメントに有効なアプローチ等について理解を深める。	英語で授業。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01AB760	農村開発におけるジェンダー論	1	1.0	1・2	秋C	集中		小林 花	農村開発プロジェクトを計画、実施、評価する上で、必要となるジェンダー配慮の視点、ジェンダー分析の手法について理解し、日本及び途上国におけるケーススタディの検討を通して理解の定着を図る。併せて、習得したスキルの自国の農村開発プロジェクトへのインプリケーションについて検討を行う。	The class is limited to 20 students. The lecture room: F106 英語で授業。
01AB765	土壌・水資源保全利用論	1	2.0	1・2	春AB	木1,2		足立 泰久	Introductory and fundamental lecture of colloid and interface science is given placing an emphasis on the application to soil and water, and bio and environmental engineering..	Introductory and fundamental lecture of colloid and interface science is given placing an emphasis on the application to soil and water, and bio-environmental engineering. 01AD222と同一。英語で授業。9:30-16:00 生農 B201 (Seinou B201)
01AB767	農村開発政策・計画論	1	2.0	1	秋AB	集中	生農 F106	茂野 隆一、立花敏、伊藤 太一、加藤 盛夫、野口 良造、首藤 久人、松下 秀介	住民参加と地域の持続的発展を重視し、環境保全を含む総合的農村開発政策・計画論を講述する。コミュニティー経済開発、ソーシャル・キャピタルの役割、農村コミュニティの構造と合意形成、農村開発プロジェクトの事前・事後評価手法、農村金融市場と農業開発、農村バイオマス利用の評価、農業技術の体系と普及及び自然資源管理と住民参加が主たる講義内容である。	平成26年度以前入学生に限る。Room: F106 英語で授業。英語で授業。本年度開講中止
01AB768	基礎植物バイオテクノロジー論	1	2.0	1・2	春AB	金2,3	生農 F106	江面 浩、青柳 秀紀、松本 宏、菅谷 純子、松倉 千昭、吉田 滋樹、有泉 亨、野中 聡子	地縁技術と先端技術を結ぶインターフェースとして必要な基礎的バイオテクノロジーに関する知識の習得を目的とする。植物、食品加工などに関連したバイオテクノロジーの話題を各分野の専門家が解説する。	Room: F106 英語で授業。
01AB769	環境管理技術論	1	2.0	1・2	春AB	火2,3	生農 F106	戒能 洋一、張 振亜、野村 名可男、野村 暢彦、山路 恵子、楊 英男、源川 拓磨、中島(神戸) 敏明、松山 茂、上條 隆志	環境変動に対する脆弱性の克服、劣化した生態系を修復するための循環型修復技術の開発、更には微生物・植物の未知環境修復機能の探索並びにその利活用によるレメディエーション技術等に関して解説する。	Room: F106 This subject will not offered after Heisei 30 (2018) academic year. 英語で授業。
01AB770	新生物資源探索・保存・利用論	1	2.0	1・2	秋AB	火3,4	生農 F106	山岡 裕一、大澤 良、宮崎 均、浅野 敦之、田島 淳史、岡根 泉、阿部 淳一、ピーター、石賀 康博、藤田 泰成、河瀬 真琴	固有地縁技術の改良に対応した、新作物・新品種の導入及び循環型ファームングシステム構築に対応した遺伝育種学を基盤として、遺伝資源の探索・保存・利用について体系的に解説する。植物遺伝資源、植物集団保全、植物資源の保護及び微生物資源探索・保存・利用、動物遺伝資源、有用生物資源探索の5領域から構成される。	Room: F106 英語で授業。
01AB771	生物多様性の保全と持続的利用	1	1.0	1・2	春AB	火4	生農 F106	渡邊 和男	生物多様性の保全と利用は、21世紀の国家戦略的検討事項とされ、多様な国際法のもとで検討されている。このような国際環境を俯瞰し、生物多様性の保全と持続的利用について農業生物資源を中心に知見を提供する。また、伝統的・在来知識に基づく生物多様性の持続的利用を民族社会的に紹介し、知的所有権の保護など法的側面も考慮し、学際的な理解を提供する。	Room: 生農F106
01AB772	科学技術分野における倫理、法的及び社会的意義	1	1.0	1・2	春AB	火5	生農 F106	渡邊 和男	先端科学技術における倫理、法的及び社会的意義の包括的な検討を行う。応用の場面だけではなく、基礎研究の企画や能力構築の場面で重要な事項であることも理解を深める。科学技術のガバナンスは、研究開発や利用を促進するために必要であり、地域社会の発展のための社会受容の重要な要素となる。	Room: 生農F106
01AB773	Introduction to Sustainable Agriculture in Rural Areas	1	2.0	1・2	秋AB	水3,4	生農 F106	トファエル アハメド	This graduate course provides concepts and practices of sustainable agriculture in rural areas covering soil structure and fertility, sustainable water management, chemical application systems, site-specific management and decision support systems. The participatory rural appraisal for sustainable agricultural practices, supply and value chain analysis in agribusiness, and ICT planning in agriculture are core discussion topics. In addition, an innovative research project is also included for sustainable agricultural practices.	Room: F106 英語で授業。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01AB774	Concept of Sustainability Index	1	2.0	1・2	秋AB	木3,4	生農 F106	トファエル アハメド	This graduate course focuses on sustainability indicators covering maximum sustainable yield, ecosystems and development of sustainability indicators. The core topics include problem solving approaches, sustainability indicators in practice, project scenarios, logical frame works, concept diagrams, stakeholder' s participation and coalition, and systematic sustainability analysis. A project is included to develop the indices to demonstrate contemporary regional issues: Environmental Sustainability Index (ESI), Food Security Index, Vulnerability and Copping Strategy Index. Furthermore, graduate students will be assigned to develop a logical farm work for their research as an exercise of system approaches.	Room: F106 英語で授業。
01AB785	Agricultural Research Methodology	1	2.0	1	春AB	木4,5	生農 F106	トファエル アハメド	The goal of this course is to provide sound understanding for producing of new knowledge, which takes three main forms: Exploratory research, which structures and identifies new problems, Constructive research, which develops solutions to a problem, and Empirical research, which tests the feasibility of a solution using empirical evidence. Hands on exercise will be given to improve the reasoning skills, emphasizing agricultural problems and issues. The course covers research methods within these three forms with basic knowledge of research methodology and a comprehensive research proposal for the Master' s thesis.	Room: F106 英語で授業。
01AB388	Metabolomics	1	1.0	1・2	秋学期	集中		Rolin Dominique, 松倉 千昭	Introduction to functional genomic & metabolomics Metabolomics and its workflow NMR versus LC-MS as analytical tools Fingerprinting versus profiling metabolomics Examples of application	英語で授業。